

## 令和3年度 第三者（外部）評価実施手順

### ・第三者評価

【目的】 行政による内部評価が、「市民感覚と乖離していないか、現状を肯定する甘い評価となっていないか」などを検証し、評価の透明性と多様性を高める。

【対象】 事務事業評価とする。

【手法】 市民、学識経験者等からなる行政評価委員会を設置し、内部評価の結果等について検証する。なお、委員の構成や具体的評価手法等については別途定める。

### 【評価委員】

外部評価委員は、学識経験者および市民の代表等5人とする。

- ① 学識経験者：鯖江市総合戦略推進会議委員経験者など
- ② 市民：市内に居住・勤務など

### 【評価対象】

評価の対象は、「事務事業評価の結果（内部評価）」とする。具体的には、令和3年度が事業見直し年度であり、令和2年度の達成度ランクが「A」以外でかつ、令和4年度の事業方向性を「維持」とした事業とし、事業を抽出する。その中から計4事業を外部評価対象とする。

### 【評価実施】

外部評価の実施に当たって、具体的な評価作業については公開するものとする。

### 【評価結果】

外部評価の結果は、報告書にまとめ市長に対し報告することとする。

### 【評価方法】

抽出した事務事業について、評価を実施する。評価対象事務事業の内容などをより確実なものにするため、事業所管による概要説明を実施し、事務事業の方向性を判定する。評価後、委員会全体で評価結果を検証する。

### 【評価の視点】

事務事業に関して方向性の判断

#### ・事務改善

予算の増額を伴わずに、所掌事務や制度等を改善する。

#### ・内容拡大

予算の増額を伴って、所掌事務や制度等を拡大する。

#### ・内容縮小

予算を減額して、所掌事務や制度等を縮小する。

#### ・維持

所掌事務や制度等の変更を伴わずに、昨年度同様の形態で実施する。

#### ・廃止・休止

計画期間（終了年度）の途中で、事務事業を終了または中断する。

#### ・統合

他の事務事業を包含して実施する。

#### ・隔年開催

事業効果を高めるため、隔年で実施する。

### 【第三者評価委員会スケジュール】

- ① 第1回委員会開催（11月29日（月） 19:00～21:00 市役所4階全員協議会室）
  - ・正副委員長互選
  - ・作業内容説明
  - ・評価対象報告
  - ・外部評価の実施（2事業）
- ② 第2回委員会開催（12月6日（月） 19:00～21:00 市役所4階全員協議会室）
  - ・外部評価の実施（2事業）
- ③ 評価結果報告（12月24日（金） 11:30～12:00 市役所3階市長室）
  - ・委員長と副委員長により、外部評価報告を市長に報告

### 【外部評価実施の流れ】

#### ①評価時間

1事業あたりの評価の時間は、概要説明、質疑応答など合わせて45分程度とする。

#### ②評価事業数

4事業とする。

#### ③評価の流れ

- ・概要説明（10分）  
事業所管課から個票などに基づく概要説明  
↓
- ・質疑応答（20分）  
当該事業に関する質疑応答  
↓
- ・評価判断（10分）  
委員同士で意見交換し委員会としての方向性の判断  
↓
- ・休息（5分）  
休憩および次の事業の準備